防府市図書館サービス振興基本計画

【令和2年度事業計画(案)】

1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

(1)市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館

- ①資料収集業務
- ・「防府図書館資料収集要綱」に基づく適正な選書・収集と質・量両面の充実
- ·図書購入目標冊数12,600冊。内一般9,500冊、児童3,000冊、郷土関係100冊
- ·視聴覚資料購入目標点数155点。内CD130点、DVD25点
- ②資料分類・目録整備業務

R2年度 事業計画

- ・迅速・正確な資料の組織化(分類・目録)、装備と分かりやすいOPAC(オンライン閲覧目 録)の提供
- ③書架管理・蔵書点検業務
- ・書架の整理整頓、全開架資料の蔵書点検の実施(10月・3月)
- ④資料提供業務
- ・正確・迅速な貸出、返却、登録、予約・リクエスト受付業務の推進

(2)老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館

- (1)コンピュータシステム管理業務
- ・円滑な運用によるサービスの強化
- ・Web上での検索・予約・貸出期間延長、読書手帳、My本棚、読書マラソン等の機能の活
- ②情報発信(広報)業務
- ・ホームページの整備、充実
- ・「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」の発行(月刊)、市 R2年度 広報「ほうふ」・防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」への定期的な記事の掲載、 事業計画|地域コミュニティーFMラジオやケーブルテレビ等の活用の推進
- ③図書館年報作成業務
 - •「令和元年度図書館年報」(一般用・子ども用)の発行(5月31日)
 - ④サービス環境整備・安全対策・危機管理業務
 - ・施設・設備・備品の日常点検と安全で快適な利用環境の整備、的確な状況把握と防犯 管理、危機管理体制の改善と整備(定期消防訓練2回・普通救命講習会実施)
 - ⑤利用マナー啓発業務
 - ・「マナーアップキャンペーン」「グッドマナーチャレンジ」(7月1日~8月31日)の実施

(3)図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館

①移動図書館車「わっしょい文庫」運行業務

R2年度 事業計画

- ・移動図書館車「わっしよい文庫」に常時3500冊の図書を積載し、6コース37ステーション を2週間に1回の周期で巡回
- ・コース、ステーション等の半年毎の見直し
- ・地域イベント等に合わせた移動図書館車臨時出張サービスの実施

(4)調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館

- ①レファレンス(調査研究相談・読書相談)業務
- ・調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスの推進
- ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧業務の利用促進と 「レファレンス協同データベース」の活用

- R2年度 |・他の図書館や機関等に問い合わせたり案内したりするレフェラルサービスの推進
- 事業計画|・レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファインダー(テーマ別 資料利用案内)等の充実
 - ・レファレンス研修、フロアワークの強化
 - ②図書館資料の複写サービス業務
 - ・著作権法や防府市手数料条例に基づく適正な複写サービスの実施

2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

(1)様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能 を持つ図書館

R2年度 事業計画 ①ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務

・第10回「防府市子ども読書フェスティバル」(5月24日)、第30回「防府図書館まつり」(10 月17日)を、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催

(2)学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる 図書館

R2年度

①ボランティア活動推進業務

・「防府図書館ボランティア連絡会議」の開催(1月)

事業計画 | ・「図書館ボランティア養成講座」の開催(2月頃4回シリーズ)

生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

(1)様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

①イベント・懇談会業務

・「トークイベント」第10回「防府市子ども読書フェスティバル」(5月24日)において、詩人・ 絵本作家の林木林氏によるトークイベントを開催

R2年度 事業計画 「防府図書館ビブリオバトル」の開催(5月・11月・3月の3回)

- 「防府図書館利用者懇談会」の開催(11月)

②資料展示・展覧会業務

・展示ケース・中央カウンター前・児童カウンター前での月例資料展示、新刊コーナー横・ ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示の定期的な実施

・新聞・雑誌コーナー壁面での市民の作品展覧会の開催

(2)生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

R2年度

①生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務

事業計画

・生涯学習グループへの機会・場・設備・資料等の提供と活動支援の推進

4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

(1)地域(郷土)資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

R2年度 事業計画 ①地域(郷土)資料収集業務

・地域資料、特に防府市関係資料についての、特徴的なコレクション形成の推進

•年間郷土資料収集目標冊数450冊

(2)地域(郷土)の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

①上山満之進と三哲文庫顕彰業務

R2年度

展示室常設展示「上山満之進と三哲文庫」の展示替え

事業計画|②「防府史料」刊行業務

防府史料第70集の刊行とホームページへの掲載(3月)

(3)姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収 集・整理・保存・提供する図書館

R2年度 ①春川市立図書館との資料交換業務

事業計画|・大韓民国春川市立図書館との資料交換と市民への提供(年1回、100冊程度交換)

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

(1)学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

①学校図書館支援業務

・学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書の利用促

R2年度 進

事業計画

・学校司書の研修の機会や場の提供

- ②「地域文庫」•団体貸出業務
- ・地域文庫・貸出文庫の利用促進

(2)他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

- ①他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務
- ・他の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力・合同研修等の推進
- ・文書館・博物館・美術館との連携強化

R2年度 ②本財団内連携業務

事業計画 ▶ 財団内連携推進会議の開催(毎月1回)

- ・文化事業との連携推進
- 科学事業との連携推進
- ・山頭火ふるさと館との連携推進

6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

(1)子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

①子ども読書活動推進業務

・「子ども図書館員」の開催(7月、8月に1回ずつ)

・「第8回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の防府市教育委員会との共催 R2年度 |・「調べる学習にチャレンジ」(7月、8月に1回ずつ)

事業計画 - 「読書感想文教室」の開催(7月~8月)

- ・「おはなし会」の開催(家庭の日・クリスマス)
- ・職場体験・図書館見学等の奨励
- ・公共施設・商業施設等での出前講座・出張イベント等の開催

(2)子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

R2年度 事業計画

①ボランティアとの連携・協働業務

・ボランティアとの連携・協働の推進

・ボランティア主催行事・研修等における図書館職員のブックトーク等の実施

7 障害者や高齢者に優しい図書館

(1)障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

R2年度

①障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務

・点字本・大活字本・音声資料等の整備・充実

事業計画 - 視覚障害者用音声付インターネットサービス利用の促進

(2)視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的 に行う図書館

R2年度 | ①対面朗読·音訳図書製作·郵送貸出等の業務

事業計画Ⅰ・対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等のサービスの推進

(3)障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

R2年度 事業計画 ①障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務

ボランティア活動への支援

・ボランティアによる施設・設備・資料等の活用の促進

資料2

評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。 C:不十分な点や課題が多く、計画通りに行かなかった

1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

| もが等しく | | | |
|---------------|--|--------------|------|
| (1)市民(|)日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ | 図書館 | |
| H30年度 事業計画 | ・「防府図書館資料収集要綱」に基づく資料の選書・収集と質・量両i・図書購入目標冊数12,600冊。内一般9,500冊、児童3,000冊、郷土f・視聴覚資料購入目標点数155点。内CD130点、DVD25点・適正な資料の組織化(分類・目録)、装備と利用しやすいOPAC(オン提供・全開架資料の蔵書点検の実施(10月・3月)・正確・迅速な貸出・返却業務、適正な予約・リクエスト受付業務の持 | 関係100冊 | |
| 事業実施 状況 | ・「防府図書館資料収集要綱」に基づいて資料の選書・収集を実施・図書購入冊数13,846冊。内一般10,202冊、児童3,507冊、郷土関係・視聴覚資料購入点数156点。内CD131点、DVD25点・適正な資料の組織化(分類・目録)、装備と利用しやすいOPAC(オン提供・全開架資料の蔵書点検を実施(10月2日・3日・4日、3月5日・6日・7・貸出・返却・利用登録・予約・リクエスト受付業務を迅速・適正に遂 | ノライン閲! 日) | 覧目録) |
| 課題等 | ・郷土資料出版情報の収集に係る体制の確立 | | |
| 自己評価 | ・概ね計画通り実施できた。 | 評価 | В |
| | 用 ・ホームページの整備、充実 ・「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介広報「ほうふ」への定期的な記事の掲載、地域コミュニティーFMラジ等の活用の推進 | | |
| | ・「平成29年度図書館年報」(一般用・子ども用)の発行(5月31日) ・設備・備品の適正な維持管理と環境整備 ・的確な保安・警備・防犯対策の推進 ・危機管理体制の改善と整備 ・利用マナー啓発活動「マナーアップキャンペーン」(7月1日~8月31 | 日)の実施 | ī |

| 司 | 果題等 | ・図書館施設に係るセキュリティの不備改善と、経年劣化しつつある | 設備のメ | ンテナンス | |
|-------|--|--|------|-------|--|
| 自 | 己評価 | ・図書館施設のセキュリティという点では不安な一面もあるが、広 報活動については概ね計画通り実施できた。 | 評価 | В | |
| | | | | | |
| (3 | 3)図書館 | 官から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館 | | | |
| | 30年度 業計画 | | | | |
| | | ・移動図書館車「わっしよい文庫」に常時3,500冊の図書を積載し、6コース37ステーション (4月より新ステーションとして西浦小学校を増)2週間に1回の周期で運行するとともに、 近「二輪のサクラ祭り」・「みんな集まれ!はたらく車展」・「防府市緑花祭」・「西浦まつり」・ 「大道まつり」で臨時出張サービスを実施 ・コース・ステーション等を見直し、31年度より1ステーション変更(自由が丘中央公園→ サンマート右田)することを決定 | | | |
| 10.00 | 果題等 | ・移動図書館ステーションの利用度格差の拡大 | | | |
| 自 | 己評価 | ・計画通り実施し、貸出冊数・貸出者数ともに増加した。 | 評価 | А | |
| (4 | 1)調査・ | 研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館 | | | |
| | ・調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスの推進 ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧業務の利用促進 ・他の図書館や機関等に問い合わせたり案内したりするレフェラルサービスの推進 ・レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファインダー(テーマ別資料利用案内)等の充実 ・レファレンス研修、フロアワークの強化 ・著作権法や防府市手数料条例に基づく適正な複写サービスの実施 | | | | |
| | ·亲美施 状況 | | | | |
| ā | 果題等 | ・職員のレファレンス対応能力の向上 | | | |
| 自 | 己評価 | ・計画通り実施できた。 | 評価 | А | |

- 1-(1)図書・視聴覚資料の購入目標が達成できており、評価できる。
- 1-(2)入館者数が年々減少している。施設・設備のメンテナンスや整備が必要である。
- 1-(2)様々な方法で、幅広く効果的な広報活動ができている。
- 1-(3)移動図書館の地域イベントへの出張サービスなどによる利用者増は評価できる。更なるサービス の向上やPRに努めて欲しい。
- 1-(3)移動図書館や地域文庫は、図書館へ出向けない人にとって便利である。返却ボックスもあるとよい。
- 1-(4)レファレンス協同データベースへの登録は評価できる。職員の計画的な研修と実践によるレファレンス対応能力の向上を望む。
- 1-(4)国立国会図書館のデジタル資料送信サービス導入の効果が見られた。

| 2 地 | 2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館 | | | | | |
|-----|---|---|----|------|--|--|
| | センターと | しての機能 | | | | |
| | H30年度 事業計画 | | | | | |
| | 事業実施 状況 | ・実行委員会、ボランティア団体等と協働で、第8回防府市子ども読月27日(参加者数304人)に、第28回防府図書館まつりを10月20日(開催 | | | | |
| | 課題等 | ・企画のマンネリ化打破と参加者数を増やす方策 | | | | |
| | 自己評価 | ・概ね計画通りに実施できた。 | 評価 | В | | |
| | (2)学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動で図書館 | | | 動できる | | |
| | H30年度 事業計画 | ・「防府図書館ボランティア連絡会議」の開催(1月) ・「図書館ボランティア養成講座」の開催(2月頃4回シリーズ) | | | | |
| | - 「防府図書館ボランティア連絡会議」を開催(1月24日)し、現状と課題について意見る 事業実施 (参加者数17人) ・「図書館ボランティア養成講座」を開催(2月7日)参加者数18人、(2月14日)参加者数 人、(2月21日)参加者数23人、(2月28日)参加者数28人 | | | | | |
| | 課題等 | 新たなボランティアの養成とスキルアップ | | | | |
| | 自己評価 | ・概ね計画通り実施できた。 | 評価 | В | | |

- 2-(1)子ども読書フェスティバルは、ボランティア団体との協働ができており、参加者の増加も評価できる。 子どもの参加が少ないため、今後の企画に期待する。
- 2-(1)図書館まつりは、フリーマーケットと同時開催で集客しやすく、毎年、古本市も好評で評価できる。
- 2-(1)課題の企画のマンネリ化については、「こども図書館員」の声や、高校生・大学生の意見を取り込みながら、企画してはどうか。
- 2-(2)図書館ボランティア養成講座は、参加者が年々微増している。今後もボランティアの養成や新規の 会員・団体の増加に尽力を期待する。もう少し親しみやすい簡単な内容にして欲しい。

| 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館 | | | | |
|--|--|----|---------|--|
| (1)様々な | (1)様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館 | | | |
| | ・第8回防府市子ども読書フェスティバル(5月27日)において、元福音本徹氏による講演会を開催 ・防府図書館ビブリオバトルの開催(5月・7月・11月の3回) ・防府図書館利用者懇談会の開催(12月) ・展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター横での月例資料 横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示の定期的な実施 | | | |
| ・第8回防府市子ども読書フェスティバル(5月27日)において、元福音館書店編集長の本徹氏による講演会を開催 ・防府図書館ビブリオバトルを5月27日(参加者数76人)、7月22日(参加者数14人)、月12日(参加者数51人)に開催 ・防府図書館利用者懇談会を11月29日に開催(参加者数13人)・展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター横での月例資料展示を36回、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示を53回実施・新規企画として12月15日に「クリスマスおはなし会」を開催 | | | 14人)、11 | |
| 課題等 | ・ビブリオバトルの開催時期と展示内容の工夫 | | | |
| 自己評価 | ・計画通り実施できた。 | 評価 | А | |
| | | | | |
| (2)生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館 | | | | |
| H30年度 事業計画 ・生涯学習グループへの機会・場・設備・資料等の提供と活動支援の推進 | | | | |
| 事業実施 ・生涯学習グループへの機会・場・設備・資料等を提供し、ボランティア、学習サークル等 状況 の活動をホームページ上で紹介 | | | サークル等 | |
| 課題等 | ・グループ数や会員数を増やす方策 | | | |
| 自己評価 | ・概ね計画通り実施できた。 | 評価 | В | |

- 3-(1)館内展示は、数多く開催されているだけでなく、変化に富んで良くなっている。外部団体の展示には 内容に即した本の紹介や関係する本の配架場所を案内するものがあれば更によい。
- 3-(1)市民や中高生の専用コーナーを設けるなどして、一般の方に月替わりで展示してもらうと図書館の 利用促進につながるのではないか。
- 3-(1)ビブリオバトルがブラウジングコーナーで行われ、来館者に見える形で関心を呼んだ。読書の楽しみを知るイベントとして定着し、参加者も増えており評価できる。館外での開催など更なる周知・ 工夫を期待する。
- 3-(1)ビブリオバトルのバトラー募集には回数を配慮すべき。学校の図書委員の協力や、中高生の参加を得ることが必要ではないか
- 3-(2)生涯学習グループの活動支援は、市広報やホームページへの掲載など、効果的で評価できる。
- 3-(2)図書館利用者懇談会の参加者は少なくても、図書館への関心が高い利用者だと思われるので、 継続を要望する。

| 4 地 | 域の歴史 | や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館 | | |
|-----|---|--|--------|--------|
| | (1)地域(郷土)資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館 H30年度 事業計画 ・地域資料、特に防府市関係資料についての、特徴的なコレクション形成の推進・年間郷土資料収集目標冊数450冊 事業実施 状況 ・地域資料、特に防府市関係資料についての情報を収集し、多岐にわたる分野の資料収集 ・年間郷土資料収集目標冊数551冊(購入冊数93冊、寄贈冊数458冊) | | | |
| | | | | 進 |
| | | | | 野の資料を |
| | 課題等 | ・郷土資料出版情報の収集に係る体制の確立 | | |
| | 自己評価 | ・郷土関係資料の購入は若干目標(100冊)に届かず、受贈図書でこれを補った。 | 評価 | В |
| | | | | |
| | (2)地域(| 郷土)の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館 | | |
| | H30年度 | ・展示室常設展示「上山満之進と三哲文庫」の展示替え ・「上山満之進没後80年展」の防府市教育委員会との共催(5月2日・ ト) | ~28日・於 | アスピラー |
| | 事業計画 ・防府史料第68集『近松浄瑠璃の本質と綜合美的研究』下巻(若月保治・著)の刊行とホームページへの掲載(3月) ・展示室常設展示「上山満之進と三哲文庫」を一部展示替え・「上山満之進没後80年展」を防府市教育委員会と共催(5月2日~28日・於アスピラート・防府史料第68集『近松浄瑠璃の本質と綜合美的研究』下巻(若月保治・著)を3月31日付で刊行し、ホームページへ掲載 | | | の刊行と |
| | | | | |
| | 課題等・郷土文学に関する職員研修 | | | |
| | 自己評価 | ・概ね計画通り実施できた。 | 評価 | В |
| | (3)姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館 H30年度事業計画 ・春川市立図書館との資料交換と整理・提供・保存(年1回、100冊程度交換) | | 極的に収 | |
| | | | | |
| | 事業実施 ・春川市立図書館から寄贈された図書100冊を受贈登録し、春川市立図書館へ図書100 状況 冊を寄贈 | | | へ図書100 |
| | 課題等 | ・外国語、外国文化に関する職員研修 | | |
| | 自己評価 | ・概ね計画通り実施できた。 | 評価 | В |

- 4-(1)郷土資料の収集は、昨年度以上の成果が見られるので、郷土資料の出版情報網が機能していると思われ、評価できる。更に難しくなっていく情報収集や入手について、引き続き丁寧に、努力して欲しい。図書館まつりやホームページ等で地域資料の情報収集や図書の寄贈をPRしてはどうか。
- 4-(1)郷土資料が充実しており、ホームページからも探しやすい。
- 4-(2)郷土資料関係の職員研修の実施継続により、郷土関係資料に強い職員の養成を望む。
- 4-(2)上山満之進没後80年展の開催は、評価できる。上山満之進と三哲文庫の常設展示は、今後もマンネリ化を防ぐための創意工夫を凝らした計画的な展示替えを期待する。
- 4-(2)地域の歴史・文化に触れるために、郷土出身の人物についての展示を企画し、人物像等を掘り起こしてみてはどうか。
- 4-(2)防府史料の刊行継続を望む。
- 4-(3)オリンピックまで1年となったので、国際関係の新しい資料の収集を進めて欲しい。

| 5 | 様々な教育 | 文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館 | | | |
|---|------------------------------------|---|--|---------|--|
| | (1)学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館 | | | | |
| | H30年度 事業計画 | ・学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書の利用促 痩 進 ・学校司書の研修の機会や場の提供 ・地域文庫事業・貸出文庫事業の推進 | | | |
| | 事業実施状況 | ・学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校256件・冊数3,069冊) ・学校司書の研修の機会や場を随時提供・地域文庫事業・貸出文庫事業を運営 | 支援図書 | 貸出(件数 | |
| | 課題等 | ・学校図書館とのネットワークシステムの有効活用 | | | |
| | 自己評価 | ・概ね計画通り実施できた。 | 評価 | В | |
| | | | | | |
| | (2)他の図 | 図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館 | | | |
| ・他の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力・研修活動等の推進・博物館や文書館との連携強化 ・財団内連携推進会議の開催(毎月1回) ・文化事業との連携推進 ・科学事業との連携推進 ・山頭火ふるさと館との連携推進 ・ 県内外の図書館と資料相互貸借(貸出1,088冊・借用798冊)・レファレンス協動等を実施 ・博物館や文書館とネットワークを通じてMLA連携 ・毎月1回財団内連携推進会議を開催し、連携事業について検討・協議・文化事業との連携事業として、アスピラート開館20周年記念企画(「マイメロを入りませる。 大会の連携事業として、アスピラート開館20周年記念企画(「マイメロを入りませる。 大会の連携事業として、ソラール開館20周年記念企画(「ニンニン忍の学び!ニンジャ道場~」・「ネイチャーテクノロジー展~自然のミカタ×未来~」・「ニコラ・テスラ展~エジソンのライバルと言われたセルビアの天才発明わせて関連資料を展示・山頭火ふるさと館との連携事業として、山頭火の「今月の一句」と解説を展言・山頭火ふるさと館との連携事業として、山頭火の「今月の一句」と解説を展言 | | | 生進 | | |
| | | | 協議 「マイメロ・ 資料を展示 ンニン忍す タ×未来・ 天才発明! | ロディ♡・キキ | |
| | 課題等 | ・県内外の図書館等との連携強化 | | | |
| | 自己評価 | ・概ね計画通り実施できた。 | 評価 | В | |

- 5-(1)学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムの利用促進により、学校支援図書貸出冊数が 倍増しており、学校図書館の活用にも繋がっている。学校支援図書については、今後も「調べる学 習」の支援のため、資料の充実・更新の継続を望む。
- 5-(1)学校司書の研修支援や学校図書館との連携を評価する。
- 5-(1)司書教諭の研修は、小・中教研と図書館の連携のもと、今後も計画的な実施を望む。
- 5-(2)防府市文化振興財団の他施設と連携したイベント実施を評価する。今後も連携の効果や課題を 検証しつつ、関係団体の企画とタイアップし、関係図書や資料の展示を望む。
- 5-(2)市内の他の様々な文化施設との連携事業が進んでいる。今後も横のつながりを広げながら、今以上の取組を期待する。

| 子どもたちの読書活動を進めていく図書館 | | | | | |
|--|--|----|---|--|--|
| (1)子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館 | | | | | |
| H30年度 事業計画 | ・子ども図書館員の開催(8月2回) ・「第6回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の防府市教育委員会との共催 「・職場体験・図書館見学等の奨励 ・出前講座・出張イベント等の開催 | | | | |
| ・子ども図書館員を2回(8月6日・8月10日)開催 ・「第6回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」(募集期間8月1日~9月3 防府市教育委員会と共催(応募作品数:小学生60、中学生11) ・職場体験・図書館見学等を受入(職場体験:21件68人、図書館見学:9件574人 ・新規企画として、毎月第3日曜(家庭の日)にイオン防府店で「ほうふとしょかん はなし会」を開催 ・小野小学校に出張し、2年生対象に「ミニビブリオバトル」(7月14日)を、「子ども 援センター"海北"」(11月16日)に出張し、絵本の読み聞かせ会を開催 | | | | | |
| 課題等 | 課題等・中学生に対する「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」への参加奨励 | | | | |
| 自己評価 | ・計画通り実施できた。 | 評価 | А | | |
| (2)子ども | (2)子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館 | | | | |
| H30年度 事業計画 | H30年度 事業計画 ・ボランティアとの連携・協働の推進 ・ボランティア主催行事・研修等における図書館職員のブックトーク等の実施 ・ボランティアとの連携・協働について関係者と随時情報交換 ・毎月2回のボランティア主催行事「おはなしでんしゃ」、「学校図書ボランティアネット・防府」の研修会(6月15日、11月26日、2月28日)において、図書館職員のブックトーク等を実施 課題等 ・ボランティアとの協働事業の推進 | | | | |
| | | | | | |
| 課題等 | | | | | |
| 自己評価 | ・概ね計画通り実施できた。 | 評価 | В | | |

- 6-(1)新規企画として「出前おはなし会」、「絵本の読み聞かせ会」、「ミニビブリオバトル」は、遠方にある学校や園にとっては、大変ありがたい。図書館から出向くということも、積極的で大いに評価でき、継続を望む。親子読書が進むような企画を連携して進めるとよい。
- 6-(1)職場体験・図書館見学等の受入等は、子どもたちに読書活動に対する興味・関心や意欲を高める 上からも適切な事業である。
- 6-(1)「図書館を使った調べる学習コンクール」の周知と支援について、学校との協力はもちろんだが、 図書館ができることを考えて進めて欲しい。
- 6-(1)子ども向けパスファインダーの作成、子ども図書館員の開催は評価できる。
- 6-(1)図書館職員やボランティアによるブックトークや本の紹介はとても評価できる。専門的な立場から、 子どもたちに本の楽しさを伝えて欲しい。
- 6-(1)ルルサス1階の空き店舗を子どもの読書に活用できないだろうか。
- 6-(2)ボランティアの人材確保と養成も大変だと思われるが、計画的な取組をすべき。

| 障害者や高齢者に優しい図書館 | | | | |
|-----------------|--|-------|--------|--|
| (1)障害者 | (1)障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館 - 移動図書館車「わっしよい文庫」に常時3,500冊の図書を積載し、障害者福祉施設や高齢者福祉施設を2週間に1回の周期で巡回 - 点字・大活字本等の整備・充実 - 視覚障害者用音声付インターネットサービス利用の促進 | | | |
| | | | | |
| 事業実施状況 | | | | |
| 課題等 | ・障害者や高齢者の図書館利用促進 | | | |
| 自己評価 | ・計画通り実施できた。 | 評価 | А | |
| | | | | |
| (2)視覚障 に行う図書 | 章害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などの 書館 - |)サービス | 、を、積極的 | |
| H30年度 事業計画 | ・音声資料の整備・充実・郵送貸出・対面朗読サービス等の活用による障害者・高齢者の図 | 書館利用 | の促進 | |
| 事業実施 状況 | | | | |
| 課題等 | ・障害者・高齢者向けサービス周知のための広報 | | | |
| 自己評価 | ・計画通り実施できた。 | 評価 | А | |
| | | | | |
| (3)障害の | Dある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図 | 書館 | | |
| H30年度 事業計画 | ・ボランティア団体との連携・協力による、障害者・高齢者のための〕 ・認知症に優しい図書館となるためのボランティア団体等との連携・ | | 集∙提供 | |
| 事業実施 状況 | | | | |
| 課題等 | ・次世代を担うボランティアの育成 | | | |
| 自己評価 | ・概ね計画通りに実施できた。 | 評価 | В | |

- 7-(1)障害者や高齢者が利用しやすいよう、施設やサービスに工夫や努力が見られる。障害者や高齢者にとって利用しやすい図書館を具体的に知る機会があると良い。また、利用者統計で高齢者の利用 状況を数値として明確にしたほうが良い。
- 7-(1)移動図書館を障害者や高齢者のサービスにしっかり活用して欲しい。巡回時に利用者等の声を聞いてはどうか。
- |7-(1)福祉施設や高齢者施設でのブックトークの実施に期待する。
- 7-(1)ルルサス1階の空き店舗を障害者や高齢者のために活用できないだろうか。
- 7-(1)(2)リーフレット「障害者サービスのご案内」の作成は評価する。視覚障害者、高齢者のための資料 を利用してもらうよう、積極的にPRすべき。郵送貸出等のサービスの広報も継続を望む。
- 7-(2)高齢者サービスの一環として、音読教室や回想法等にもボランティアの協力を得てチャレンジして 欲しい。
- 7-(2)リーディングルーペ、リーディングトラッカーの導入は良かった。高齢者の読書離れの減少に繋がるとよい。
- 7-(3)障害者サービスは、ボランティアによるところが多いが、高齢化が懸念されるため、若者が参加しやすい環境を整備すべき。